

①滋賀県草津市で栽培される「青花」とは、

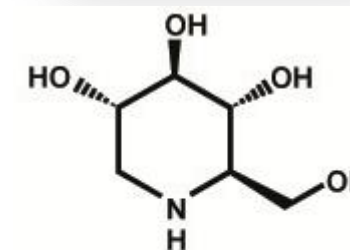


- ・ オオボウシバナ(大帽子花、学名 *Commelina communis* L. var. *hortensis* Makino)
- ・ ツククサの栽培変種。一般には通称であるアオバナ(青花)と呼ばれています。
- ・ 路地に咲く通常のツククサに比べて大きく高さが1メートル近くにもなり、花の大きさは直径4-5センチになります。
- ・ 滋賀県草津市では、青花の花びらを友禅染の染料として使う「青花紙」を作るために栽培してきました。
- ・ 昭和56年には、「市の花」に指定し、新たな用途開発を行ってきました。

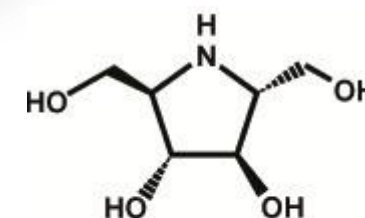


②新成分発見！ 食後の血糖値上昇抑制！

- ・ 大阪薬科大学の草野源次郎教授が、ツククサ科の植物に α -グルコシターゼ阻害のあるDNJ(1-deoxy-nojirimycin)とDMDP(2*R*,3*R*,4*R*,5*R*)2,5-bishydroxymethyl-3,4-dihydropyrrolidine)を発見。特許を取得。
- ・ 食事の後、血糖値の上昇を抑制する効果のある食品素材として活用できる。
- ・ 古くから東洋ハーブとして使われており、食糧としての記載がある。



DNJ



DMDP

③青花食研株式会社



平成20年3月31日 (株)ヤマダ薬研と(株)スピルリナ研究所が出資して設立。

- ・ 特定保健用食品の開発
- ・ 青花の栽培、栽培研究
- ・ 青花原料の販売
- ・ 青花関連商品の研究開発

滋賀県草津市野路東1-1-1

立命館大学BKCインキュベータ305号室

ホームページ

<http://www.aobanashokken.co.jp/>



フェイスブックページ

青花粉末の加工工程

種まき → 苗作り → 植付 → 育成 → 刈取 →



苗

育成

刈取り

農商工連携

蒸し加工



熱風乾燥

青花乾燥葉



粉碎滅菌加工



青花粉末



京 都 府 泉 南 市

地域の農商工連携第1弾

滋賀2事業など認定

近畿経済産業局と近江九郎、中小商業事業者を支援する「農商工等連携事業計画」の第一回認定企業を発表した。近畿、北陸からは滋賀県の2事業を含む計6事業が認定され、大阪市内で認定書交付式があった。

認定書を受け取る滋賀県の企業代表者（大阪市中央区・近畿農政局大阪農政事務所）

滋賀県からは、「青花の有効成分を抽出・粉末化した青花粉末の食品開発と製造販売」（草津市、青花食研、）と「S-LT（草津市、青花食研、）の補助や設備投資減税、低利融資などで支援する。初回は全国で六十五」

認定書を受け取る滋賀県の企業代表者（大阪市中央区・近畿農政局大阪農政事務所）



青花の有効成分を抽出・粉末化した「青花粉末」の食品開発、製造及び販売事業